

要 約 会 議 録

会 議 の 名 称	第 3 回 子育て世代ふれあいトーク	
開 催 日 時	平成 30 年 6 月 30 日 (土) 10 時開会・11 時 55 分閉会	
開 催 場 所	栃木保健福祉センター 大会議室	
出 席 者	市長・教育長・総合政策部長・保健福祉部長・ こども未来部長・教育部長・生涯学習部長・建設部長 (事務局) シティプロモーション課	
参 加 人 数	30 人 (一般 28 人 市議会議員 2 人)	
会 議 事 項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 出席者紹介 3. 市政報告 栃木市の教育（子育て）について 4. フリートーク 5. 閉会 	
会 議 の 経 過 (議事の要旨)	別紙 1 のとおり	
会 議 資 料	子育て世代ふれあいトーク 会議資料	

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発言内容
◎事務局	1. 開会 【資料の説明】
◎事務局	2. 出席者紹介 【市長・教育長・総合政策部長・保健福祉部長・こども未来部長・教育部長・生涯学習部長・建設部長の紹介】
◎市長 保健福祉部長	3. 市政報告 市長あいさつ及び市政報告「栃木市市政運営について」「産後ケア事業について」の概要報告。
◎参加者	4. フリートーク（司会：高村パーソナリティー） 1点目は、経済的な不安が大きい。私も3人の子どもを育てていて大変です。知り合いは第3子を妊娠した際、双子が生まれて4人の子育てをしている。母子手帳は2冊いただいたが、妊婦健診カードは1冊分で、後で申請すれば戻ってくるかもしれないが、不安である。妊婦にとって不安は悪い影響があるので、「大丈夫ですよ」と声かけや、自動車税の軽減をするとか、不安を払しょくする配慮があってもいいと思った。 2点目は、学校教育のあり方についてです。私の上の子は不登校で学校に行ってません。原因は様々あり、私の子どもは気質・体質によるものです。そういう子どものために、学校へ行かなくても教育は受けられるような環境を整えてほしい。高根沢町にひよこの家という適応指導教室がありますが、そこは学校復帰を目的とせず、学ぶ意欲を育成し学校復帰が目的ではない全国唯一の施設があります。栃木市は学悠館高校などがあり、教育環境は整っていると思います。ぜひ、多様な学びを選択できて、子どもたちが栃木市で育ってよかったなと思える環境を整えてほしい。
◎パーソナリティ	まず経済的に不安ということについて、同じような意見がありましたら、お伺いしたいと思います。

<p>◎参加者</p>	<p>2人目を考えた際に、経済的な理由よりも、仕事をする上で育児との両立は職場に迷惑をかける、ということ配慮した結果、年数が開いてしまった。これでもう一人と考えたときに、経済的なこともやはり考えます。</p> <p>経済的なことと言うのは、生活のすべてに関わってきます。車のことであったり、おむつのことであったり。そういったところに補助などがあるといい。</p> <p>また、違う話になるが、乳幼児健診が現在は13時からとなっている。仕事をしている人からすると、休みを取りにくいし、子どももちょうど眠い時間なので、午前中にやっていただけるとありがたい。</p>
<p>◎パーソナリティ</p>	<p>それでは、一つ一ついきましょう。</p> <p>乳幼児健診の時間についてはいかがでしょうか。</p>
<p>◎保健福祉部長</p>	<p>昨年度、アンケート調査を実施し、ご要望を伺ってきた。市の都合等の話もあるが、アンケートの内容を真摯に受け止め、検討をしました。ただ、午前中が良いという方もいれば午後が良いという方もいらっしゃる。どちらが良いということもなかなか言えない部分ではあるが、今後も皆さんのご意見等を参考にさせていただいて、より良い健診にしていきたい。</p> <p>それから、妊婦健診の話ですが、お一人14回の健診を補助しています。多胎児の場合については、後で担当から説明しますが、いずれにしても、昨年度すこやか子育て相談室が開設されたので、不安等抱えずに、ご活用いただきたい。</p>
<p>◎健康増進課</p>	<p>双子の場合は、母子手帳は2冊、妊婦健診受診票は1冊のお渡しです。理由としては、健診はお母さんを診察するもの、という考えのもとからです。1人の場合でも双子の場合でも、健診にかかる費用は、お医者さんの診察の様子やその人の体の調子により違うと思いますが、助成に関しては、現行の14回とさせていただきます。</p>
<p>◎パーソナリティ</p>	<p>現行では、14回というお話でした。今後、検討の余地はありますか？</p>
<p>◎健康増進課</p>	<p>他市の状況も調査研究させていただきながら検討させていただきます。</p>

<p>◎市長</p>	<p>高根沢の「ひよこの家」、自然豊かな場所で、生活や勉強ができる良いところであると認識している。いろいろな学びの場があつていいと思うが、どこかできちんと学力を身に着けることは、将来にとって大切であるとも考える。どんな環境であっても学力をつけられる環境にしていきたいと考えています。</p>
<p>◎教育長</p>	<p>お母様もずいぶんいろいろと考え、悩まれたことと思います。初めに申し上げますが、それはお子さんのために、絶対に無駄にならないと思います。自信にしていきたいと思います。</p> <p>つい最近まで現場にいましたので、現在の栃木市の一般的な話として、まず、ご説明させていただきます。</p> <p>社会の変化、いろいろな問題等が原因で、不登校の児童・生徒は増えています。つい最近までいた中学校では、2年前ぐらいの時点で全校生徒 500 名ぐらいのうち、20 名の不登校のお子さんがいました。</p> <p>20 名いれば、20 名それぞれの理由があります。一言で、こうあるべき、ということは、今の時代では通用しないと思っています。</p> <p>今、市内には各地域に適応指導教室があります。家から出られる場合は、そちらに通うというのが選択肢の一つです。</p> <p>その中でも、学校の門はくぐれるという子は、校内版適応指導教室のようなものを一室設けて、朝から来られなくても、そのお子さんの状況に応じて、来られる時にその部屋に来てもらう、という体制を始めている学校もあります。</p> <p>私がいた学校でも、2年前からそれを作りまして、適応指導教室にお世話になっていたお子さんの 8 割ぐらいが校内版適応指導教室の方に移ることができて、中には徐々に教室の方に入れているお子さんもいて、2年半で 20 名ぐらいいた不登校のお子さんも、今年の 4 月の時点で 4 名ぐらいになりました。</p> <p>それでも家から出られないお子さんはいらっしやると思います。</p> <p>これは個人的な意見ですが、学校というのは通過点だと考えています。将来大人になって、その人らしく自分の良さを生かして生きていけることが大切であつて、必ずしも学校じゃなければだめという考えは、これは私はおかしいと思っています。</p> <p>お子さんの状況に応じて、どういうのがふさわしいかというのを学校にご相談いただければと思います。</p> <p>どうしても学校に行けないという時期が続けば、それはそれ</p>

	<p>で、充電期間だと思います。</p> <p>もしかしたら、もう少し経って、思いが変わることもあるかもしれませんが、今は、情報を集めて、家の中でできるソフト面での出会いといいますか、そういう刺激を与えるということは必要なのかなと思います。</p> <p>あとは、お母様もいろいろなところと繋がっていらっしゃるようなので、いろいろと試していただいて、今は、人生の一通過点というスタンスに立っていただいて、まずは焦らないことだと思います。</p> <p>いつか、「あの頃そんなことがあったな」と懐かしく今を思い起こせる時期が必ず来ると思います。お母様も焦らず、今の状況を、難しいかもしれませんが、ゆったりとした状況で見守っていただければと思います。お母さんが焦ると、お子さんも焦ってしまいますので。</p> <p>たぶん一番ご心配されているのは、進学の問題かと思います。ただ、今の時代は、いろいろな選択肢があります。焦らずに、ゆったりと構えながら、見守りながら過ごしていただけたらと思います。そして、心配なことがあったら、改めてご相談ください。</p>
◎パーソナリティ	<p>一つはそういったところに相談、ということもあるかと思います。もう一つは、フリースクールのような、学校復帰を目指さなくてもいい場所を作ってもらいたいというご意見もあったかと思います。市民活動などでフリースクールを開校しているところもあるようですが、それが市として、もう少し支援があったら出来たらいいのかな、と思いました。学校が主体ではない教育の形があったらいいな、ということかと思いました。</p>
◎子ども未来部長	<p>先ほど、教育長から話がありましたが、義務教育の家庭は、市で支援していける状況にあります。しかし、高校に進学後となると、市の方での支援ができなくなる、という状況がありました。高校生の引きこもりに対してどう支援していけるか考えているところです。県の教育委員会では支援をしていますが、なかなか支援しきれないことがあります。市では、子どもサポートセンターというのがありますが、そこで臨床心理士とか言語聴覚士、また医師も所属しています。そういう方たちが、巡回指導をしたり、相談を受けたり、また、引きこもりであれば、適応指導教室のような場所を提供して、出てきてもらえるような場所を作っていければ、高校生やそれ以上の子どもたちに対</p>

	<p>して、引きこもりの対応ができるのかな、と思っています。</p> <p>今後就職支援も含めて支援していかなければならない時代になると思います。30歳ぐらいになっても、引きこもりをしている青年もいるとのこと。その辺の支援もこれから十分に考えていかなければと思います。</p> <p>また、自分の考えですが、引きこもりについては、いろいろ心配されていることと思います。一番大切なのは、その子に対して、必ず毎日声をかけること、それに対して子どもからの反応はないかもしれませんが、どこかで必ず反応してきます。その時がチャンスです。そのチャンスを生かして、いろいろな支援を子どもに話してあげると必ず反応が返ってきます。その時にいろいろなアドバイスができるように、知識をある程度つけておくことが大切で、そのチャンスを見逃さないでください。私の主観ではありますが、お願いしたいと思います。</p>
◎パーソナリティ	<p>それでは、それ以外に学校教育の関係で、ご意見がある方はいらっしゃいますか。</p> <p>では、先ほどお2人から出た意見で、車の買い替えの際やおむつの助成の話などありました。意外と細かい助成というのは気がつかないところもあるかと思います。こういうのがあったらいいな、というのはありますか。</p>
◎参加者	<p>学校教育のことでもう一つ伺いたいのですが、小学校に上るにあたって、支援学級が地域の小学校にあるのかを調べたいと思っています。できるだけ息子に合った環境で学ばせたいと思っています。まだインターネットでしか調べていませんが、小学校によっても、書いてある内容が異なっていて、栃木市で分かりやすく、小学校をまとめて紹介しているようなページを作っていたら情報が得やすくなって助かります。</p>
◎パーソナリティ	<p>今はホームページは学校でバラバラですか？</p>
◎教育部長	<p>市内全ての学校でホームページを作っていますが、おっしゃるように、フォーマットは全部一緒ではございません。それぞれの学校の特色に応じた作り方をしています。</p> <p>市のホームページから、すべてリンクが張ってありますので、ご覧いただけるかと思いますが、みなさんが求めているような情報がすべて網羅されているかと言いますと、残念ながらそうではない部分もありますので、ホームページの充実につき</p>

	<p>ましては、今後も推進していきたいと思っています。</p> <p>それから、これから学校にあがるお子さんに対しましては、10月から就学時健診というものをすべてやっていきます。通知が9月頃、個別に届くと思いますので、その日程に沿って、就学児健診を受けていただいて、その時に健康状態や発達状態なども専門の職員が拝見させていただいて、個別のご相談というもの、そこから始まるような形になります。特別に配慮が必要なお子さんの場合は、その状況をよく把握させていただきます。それをもって、学校教育支援委員会というのがございまして、お医者さんや専門職の人たちと、一人一人の子に対してどういった受け入れ先がいいのかというのを、保護者の方とよく話し合いをしながら、入学に向けて方向性を出していくことをやっております。何かご心配なことがありましたら、学校教育課に直接お問い合わせいただければ、担当職員が親身に対応させていただきますので、どうぞご相談いただければと思います。</p>
◎パーソナリティ	<p>案内がくるのが9月ぐらいだと、「もっと早くから知りたいわ」ということもあるのでしょうか。</p>
◎参加者	<p>子どもは今、年中なので、そういう情報を知れたら、引っ越しをしようかということも、検討のうちに入っていたので、できるだけ早くいただけたら、ありがたいと思います。</p>
◎パーソナリティ	<p>そうすると、9月とかの決まった時期だけでなく、自ら情報を獲得できる何かしてほしい、ということでしょうか。</p>
◎参加者	<p>情報を簡単に集めることができる方法が、私はインターネットだったので、そういうところから情報が得られたらありがたいと思います。</p>
◎教育部長	<p>遠慮なくご相談いただければ、学校教育課の方でご相談に乗らせていただけたらと思います。</p>
◎パーソナリティ	<p>分かりました。もう一つ、ホームページがいいということではないでしょうか？窓口や電話相談と言いましても、まず何を相談したらいいか分からないこともあると思います。今の時代ということなんですけど、今、いじめ相談もチャット方式になっていたりするぐらいですから、まずはネットというのがどう</p>

<p>◎教育部長</p>	<p>してもあって、例えば夜中にふと思った時に調べるツールがあったらいいなというシーンが多いですね。</p> <p>電話をかけて、「すみません、あの…」というのがしにくいのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。</p> <p>ホームページにつきましては、市内各校用意しておりますがおっしゃるように、中身のばらつきがあるかと思えます。その点につきましては、今後みなさんに分かりやすいような作り方を目指していきたいと思えます。</p> <p>そこで、ホームページを充実させたほかにどのようなことが必要でしょうか？</p>
<p>◎パーソナリティ</p>	<p>逆にどうでしょうか。学校教育以外でも、市の取り組みとかを知るにあたって、どんな方法だったら情報が得やすいでしょうか。検索すると引かかる、とか。</p>
<p>◎参加者</p>	<p>支援学級にしても、情緒とか細かく分けてくれる学校もあれば、一クラスしかない学校もある。規模によって違うのだとは思いますが。</p>
<p>◎パーソナリティ</p>	<p>細かい情報が得にくい、ということでしょうか。</p>
<p>◎こども未来部長</p>	<p>今、保育園に通っていらっしゃるということで、支援児に限らず、すべての園児に対して「すくすくシート」というのを作りながら、一人一人子どもたちの様子を観察して、それを記録にとっています。その「すくすくシート」を利用して、小学校入学する際に、小学校と連携しながら、こういう子どもたちがいます、そしてその小学校でどういった支援がしていけるか、幼稚園・保育園と小学校と情報を共有しながら、小学校に入ってもらおうということで、今考えているところです。その中である程度小学校の場合は、学区というのがありますので、住んでいる住所地の小学校に入学してもらおうということです。どうしてもお子さんが行きやすい学校を選ぶ、というのは今のところできないのですが、どこの小学校でも対応できると思えます。安心して入学していただければありがたいと思えます。</p>
<p>◎パーソナリティ</p>	<p>あとはとにかく、より良い環境を整えたいという保護者の思いがあって、その情報を自ら獲得したい気持ちがあるということだけ、受け止めていただければと思います。</p>

<p>◎教育長</p>	<p>先ほど、支援学級があるかないかプラス、それが情緒なのか知的なのかというような情報を、最低限知りたいというお声があったかと思います。</p> <p>市のホームページの中に、全校の学校の様子をアップしているわけですが、「学校概要」というのをクリックしていただきますと、全生徒数とかクラス数とかそれから特別支援学級はどういう種類があるかというのがすべて一覧で載っているものがあります。もし、それが載っていない場合は、載せるようにということで各学校の方には指導したいと思います。</p>
<p>◎パーソナリティ</p>	<p>その他、お願いします。</p>
<p>◎参加者</p>	<p>保育のことで気になったことがあります。東京で長いこと保育士をしていました。</p> <p>たぶん、公立保育園だけだと思うのですが、土曜日の保育のことです。土曜日の保育は、いくつかの保育園が集まって保育をしているということなんだそうです。それぞれの保育園で土曜日の保育をしていない、ということが一つと、土曜日は給食が出ないということを知りました。</p> <p>小さいお子さんは環境が変わるといことはすごく大きなことだと思います。それを考えたときに、人数は少ないけれど、それぞれの保育園で土曜日の保育をしてほしいし、それから、給食も少なくとも保育園で作るということを基本に考えてほしい。</p>
<p>◎パーソナリティ</p>	<p>土曜保育については、うなずいている方もいらっしゃいましたが、同じように保育園でこうだったらいいな、というのはありますか。</p>
<p>◎参加者</p>	<p>私は土曜保育を利用していませんが、使っている方からすると、土曜保育がない保育園で、まず、朝連れて行くことが大変だと言っていました。</p> <p>あと、土曜日は、給食はあるみたいですが、カレーとシチューなんだそうなんです。そこは特に言っていないんですが、場所が変わるのは大変だと言っていました。</p>
<p>◎パーソナリティ</p>	<p>私は市外なので、栃木市の保育園の様子が分からない部分もありますが、私も娘を土曜保育にいつも預けていて、その保育</p>

<p>◎保育課長</p>	<p>園はうちの子だけでも預かっていただいていたいて、それはそれでマンツーマンでどうなのかなと思ったこともありました。栃木市はすべての保育園は土曜保育は1箇所ですか？</p> <p>自分の保育園で預かってくれるところもあるんですね。お子さんの数とか園の規模で合同になっている、ということですね。</p> <p>そういったご意見がある、ということでなかなか解消はすぐには難しいと思うのですけれども。確かに、先生が変わるといのは大きいかもしれませんね。</p> <p>現在の土曜保育の実施場所ですが、栃木地域と大平地域の保育園では、くらのまち保育園・はこのもり保育園・いまいずみ保育園・大平西保育園という状況になっています。他の地域では1園ずつですので、それぞれ実施しています。現状ではすべての保育園で実施というのはなかなか厳しい状況となっております。</p>
<p>◎参加者</p>	<p>給食については、私の友人のお孫さんは0歳～1歳ぐらいの間の小さいお子さんでした。それなので、給食はなしということだったかもしれません。</p>
<p>◎パーソナリティ</p>	<p>今のところは、各保育園でというのは難しいようなのですが、そういう希望があるというところで、受け止めていただければと思います。</p>
<p>◎参加者</p>	<p>小学校への導入の時ですが、保育園はお昼寝がありますが、年長さんになるとだんだん減らしていかなければならないという環境にあると思います。ただ、保育園によってかなり差があって、早いところは年長に上がる少し前から始めるころもあれば、年長さんの3月31日にまで昼寝をさせるという保育園もあります。</p> <p>小学校にあがって、授業中や学童保育の時間に眠くなって寝てしまうということがあります。学童は寝る場所がないので、下にお昼寝をさせている状況があります。</p> <p>それから、幼稚園と保育園で、保育を重視する点と、学校教育を重視する点ということで、かなり差があって、小学校1年生になると、親も子供も実感することがあります。学校は規律を守りながら集団生活をする、みんな一緒のことをする。保育園は少し違って、生活リズムを大切にするという感覚なので、</p>

<p>◎パーソナリティ</p>	<p>その導入の時期がかなり大変だったなという風に感じました。</p> <p>同じように思われた方、いらっしゃいますか？お住いの地域や勤務形態によっては選べなくて、本当はこっちがよかったけど、こちらにしたなどの差で何か思われることはありますか？</p> <p>もしくは地域性でけっこう違うわ、とか。</p> <p>特にありませんか？</p> <p>保育園と幼稚園で違うというところは、なかなか難しいところですよ。</p>
<p>◎おおつか保育園長</p>	<p>幼稚園と保育園の違いですが、まず保育園は長い時間、子どもが過ごすところで、長い子では12時間もの間過ごします。お昼寝をするのは、そのお子さんの健康を守るためという考えで、横になる時間を作ります。それが保育園です。</p> <p>保育園と幼稚園では、お昼寝をする、しないというところが昔から違っていましたが、近年、多くの幼稚園が認定こども園となり、保育園と同じような時間をお預かりするお子さんもいますのでお昼寝の時間を確保していると思います。</p> <p>就学前の問題ですが、就学前の年長児であっても、5歳・6歳の体では、長い時間をずっと起きて活動をするというのはやはり無理があります。そのため、少しの間でも横になるという時間を作るという保育園があります。しかし、後半、秋口ぐらいから、『もうすぐ学校に行きますよ』という意識を育てる努力は年長の担任がしていますし、お昼寝をしない子も増えてきます。1日5～6時間、45分の授業に座ってられるようにということで、簡単な学習作業なども机に座ってやる準備を徐々にしていきます。保育園の方でも、お昼寝がある日、ない日、あると思いますが、後半にはそういったこともやっています。</p>
<p>◎パーソナリティ</p>	<p>なかなか一律にいかない部分もありますね。</p> <p>今のパパやママは情報がいろいろと入ってくるので、保育園と幼稚園の差みたいところで、不安になってしまうこともあるのかなと思いますが、それぞれ、子どもたちのために、というカリキュラムでやっている、ということですよ。</p> <p>なかなか解決には至らないことですが、そういうご意見があるということで、お願いいたします。</p> <p>その他、いかがでしょうか。働いていらっしゃる保護者の方が多いでしょうか。最初の方に、お一人目生んだ後に、二人目</p>

	<p>のお子さんを生むときに仕事の復帰を考えて二の足を踏んでしまうというご意見もありましたが、同じような状況や、もしくは働きながら子育てしにくいな、と思う状況などはありませんか？または、働くためにはこういったシステムがあったらいいのにな、とか。よその市のお友だちのところには、こんな制度があるよ、とか。</p>
<p>◎参加者</p>	<p>小学校のことですが、みなさんに当てはまらないかもしれないのですが、私の娘が通っている小学校では、PTA 会費とかを現金で毎月持って行っています。何もなくても襲われたりすることがある心配があるにも関わらず、現金を持ち歩いていて、しかも集金日が毎月この日ですよと知らせてくれるんですね。そんな時に登下校中に何かあったら、とすごく不安です。6 千円とか 7 千円とかそのぐらいですが、生活に困った方がいれば、小学生とか 1 年生とか女の子とか、襲われかねないという心配がすごくあるので、栃木市全域ではないとは思っていますが、なんとかその辺は早急に対応していただけないかと思って、3 年間過ごしてまいりました。なんとかならないでしょうか、お願いします。</p>
<p>◎教育部長</p>	<p>おっしゃる通りです。ほとんどの学校は口座から引き落としをしていますが、ごくごく少数の学校では、昔ながらの集金袋での集金というのが現状です。いろいろご要望がありまして、それぞれの学校の判断で選択しているのですが、時代の流れから言えば、おっしゃる通りだろうと思いますので、校長会なども相談しながら善処できればと思います。</p> <p>また、学校にもよるかと思いますが、どこどこ銀行のどこどこ支店、というように口座の指定というところもあるようです。他の場でもいろいろな口座で対応してもらえないかというご意見も出ていたこともございました。その辺りもそれぞれの学校の判断で実施しているところはありますが、それも含めて改善できるところは、改善できるように努めていきたいと思えます。</p>
<p>◎パーソナリティ</p>	<p>なるほど。ごくごく少数ということで、もしかすると見過ごされがちかもしれませんね。ご意見、ありがとうございます。</p>
<p>◎参加者</p>	<p>子どもが 6 人います。入学のタイミングが 3 人被るときがあります。ものすごいお金がかかります。子育てはお金がないと</p>

<p>◎市長</p>	<p>できないということが現実だと身に染みていつも感じています。かかるときは入学時に 10 万以上。中学校は自転車を買ったり、部活に入って部費とかユニフォームとか揃えるまでお金がかかります。お金の面でも援助とかあるといいないつも思っています。</p> <p>それから、高校生になると医療費が自己負担になるので、そういう面も大変だとしみじみ感じています。</p> <p>子どもを育てるのに大変なことは、やはり金銭面かないつも思っています。</p> <p>やはり子どもは社会で育てなければなりませんよね。たくさんのお子さんを育てているというのは、本当にありがたいことだと思います。日本にとって。社会にとって。ですから、子どもをみんな、社会で育てるといのは、基本ではないかなという風に私は考えております。しかしながら、日本の国が子育て支援よりも経済成長を重視してきたことだと私は思っていて、経済成長のために我々が働きにくい社会を作ってしまった、そっちへの支援がおろそかになってしまったりしているということを感じております。だから少子化になっちゃっているんじゃないのということですよ。そういう大変な中でも、3人、4人、そして6人、頑張ってくれている保護者の方がいるわけだから、できるかぎりの社会的支援、これはしていかなきゃならないというのが、私の思いです。どこまで支援していけるか分かりませんが、税金はこれだけしかありません、その税金をどこに向けるかということだと思います。やっぱりここは子育てにきちんと予算を向けていかなければ、ますます日本の少子化は進んでしまう。将来の日本は消滅してしまうことになってしまうので、ここできちんと少子化対策をしていかなければならないのではないかとというのが、私の考えであります。あとは財政支援をどのように確保するかという問題です。今、こういうことをできます、というのはなかなか言えないのですが、市の幹部ですから、栃木市の予算をどこに付けていくかということを考えたときに、やっぱり子育て支援をきちんとしていかなきゃならないという認識を持ってもらえればいいかなと思います。</p>
<p>◎パーソナリティ</p>	<p>やはり一時に出費が多くなるというのが一番大変ですかね。日々の生活ももちろんだと思っておりますが、入学・卒業時に大きくかかる。</p>

<p>◎参加者</p>	<p>何か、具体的に、一番大変なのは、制服でしょうか？</p> <p>ウチの学校では、バザーとかで、着られる体育着でいらなくなったものを出して、少し安く買ってもらっている。あとは、地域に知り合いがいたら、そういうネットワークができるかなと。実際、学生服も知っている人からおさがりをもらえる人もいれば、できない人もいるので、そういうのを市で、リサイクルとして、きれいなものを安く持って行ってもらう、というのがあるといいのかな、と思いました。</p>
<p>◎生涯学習課長</p>	<p>都賀公民館の方で制服バンクを、20年前ぐらいから実施しています。スタート当初担当だったものですから、経緯をお話します。</p> <p>都賀中の3年生のお母さんが育成会の役員何人かで仲良くなって、1年生の時に買った制服が3年生になるとツツルテンで着られない。でももうもったいなくて買えないということで、その時は高校生のジュニアリーダーのボランティアに声をかけたところ、調達できました。それがきっかけでリサイクルを始めようということで、制服を集め始めました。最初は都賀中の制服だけと思ったのですが、だんだん高校の制服も集まってくるようになりました。たまに怪しい方から電話がくることもあるので、原則親か本人にしか渡していません。そういったことで、今でも地元のオピニオンさんが整理してくれて、実施していますので、ぜひご利用いただければと思います。</p> <p>制服のほかにも柔道着などもあります。</p> <p>無料で差し上げていますので、公民館の方に来てみてください。</p>
<p>◎パーソナリティ</p>	<p>今のお話の取り組みを知っていた方はいらっしゃいますか？ほとんどいらっしゃらないということで、ごくごく少数の方しか知らない良い取り組みというのがこんな風にたくさんあるのだと思います。そういった意味で、先ほどの学校の検索もそうですけれども、今、正直みなさん、ネットなんですね。ネットで検索して、栃木市都賀公民館と出てくると、みなさん行けるとは思いますが、なかなか公民館の掲示板だけですと都賀エリアの方しか分からないですよ。</p>
<p>◎生涯学習課長</p>	<p>毎年都賀公民館で発行する、都賀地区だけの広報紙には制服バンク、ご協力ください、というのはあります。</p>

<p>◎パーソナリティ</p>	<p>少なくとも、広報とちぎには毎年載せていただくといいですよね。</p> <p>地元でせっかくそういうシステムがあるので、うまく使えるといいですね。渡すシステムがないのももったいないと思います。</p>
<p>◎生涯学習課長</p>	<p>県内では、都賀地域と足利で消費生活センターの方たちがやっています。足利は高校がいくつもあるので、いろいろな高校の制服がそろっています。</p>
<p>◎パーソナリティ</p>	<p>そういった取り組みもぜひ、どこかに載せていただければと思います。市のホームページに載っていれば、多少検索に引っかかってくると思います。一度載せていただければいいかもしれませんね。</p>
<p>◎参加者</p>	<p>妊娠・出産・産後の時に感じたことを3つお話ししたいことがあります。</p> <p>1つは、今日お話のあった産後ケアのことです。産後うつの方はとても多いと思います。産後ケアの案内が来た時に、本当に苦しんでいる人が、自分で申請にいけるのかな、と思いました。初めこのチラシを見たときに、あまり優しくないなと思ってしまったのですが、その後、ホームページを調べたり、担当の方に話を聞いたりしたら、本当に支援が必要な方のためにまずはスタートした事業だということを知ったので、確かにそういう方にとってはありがたい支援だとは思いますが、誰にでも起き得る産後うつの方に、どういう表現をしたらより良いのか、もう少し考えていただけたらなと思いました。</p> <p>もう一つは、優先カードです。母子手帳をもらう時に、他にもたくさん資料が入ってる袋の中にこれの説明書が入っています。前の子の時に知っていたので、今回もすぐ申請をしたのですが、周りの方に聞くと、知らない人が多くて、使ったことがないという人が多かった。また、使った人から聞いた話では、3人目のお子さんを妊娠しているときに、スーパーでそこに停めたら、高齢者の方から、待ち伏せされて、怒られたそうです。この制度を知らない人が多いし、もっと市民の方がこれを知っていたら、もっとお互いに温かい環境ができるのではないかと思いますので、この情報はもう少し、市としても広報やホームページに載せていただくなどしてもらえるといいと思いました。</p>

<p>◎保健福祉部長</p>	<p>た。</p> <p>3つ目ですが、市の窓口についてですが、子育てすこやか子育て相談室などは、非常にウエルカムな体制で、温かく迎えられた気がするのですが、市役所に行くと、たくさん人がいて、まずどこに行ったらいいのか、どこで何を聞いたらいいのかわかりません。私もちよくちよく行きますが、行っちゃいけないような雰囲気で見られているように感じます。</p> <p>子育て関連の窓口だけでも、迎えてくれるような雰囲気があると暖かくていいなと思います。</p> <p>まず、産後ケアの案内の表現方法についてですが、始まったばかりということで、流れとしますと、産後の健診を受けていただいた時に医療機関の先生方が見て、産後うつの心配がありそうなお母さんに受けていただくという流れというのが一つ、あろうかと思います。また4カ月未満の赤ちゃんのお母さん、産後の時ばかりでなく、様々な場面で苦しい時があるかと思えます。そういったお母さんの支援を今後どうつなげていくかというのは研究していきたいと思えますし、表現方法についても研究していきたいと思えます。</p> <p>2つ目の駐車スペースに関しましても、今後ホームページなり広報などではお知らせしていきたいと思えます。</p> <p>3つ目に関しましては、できる限りウエルカムな雰囲気にはしたいと思えますが、場所によっては難しいところもございます。ただ、子育て関連の窓口は、ウエルカムな状態でお迎えしてまいりたいと思えます。</p> <p>ご意見と承って、改善してまいりたいと思えます。</p>
<p>◎市長</p>	<p>産後ケアのことで、よろしいでしょうか。</p> <p>市からの案内を見ると、こういう助成をするよ、とか宿泊だといくら助成するよ、というようなことになっていますが、その以前の問題だと思えます。悩んでいる人というのは、自分で相談にいけませんから、そういう人をどういう風に発見していくかということなので、先ほど言ったように、健診の時であったり、保育園に通ってれば、保育士が様子を見るとか、いろいろな場面で見たい。自分で相談に行ける人は心配がないと思えます。行けない人をどのようにサポートしていくかということがすごく重要なことなので、様々な方法を使ってまずは悩んでいる人は発見して、相談にのって、すぐサポートできる、ということだと思えます。それから、助成とか何かという</p>

<p>◎パーソナリティ</p>	<p>話だと思えます。その以前にどうするかというのをちゃんと考えていかなければならない。行政の方もいろいろな手をつくして、お母さんの悩んでいる状況をいろいろな場面でサポートしていく、支援していく、そこがまずは大切だと私は思っていますので、そういったことを徹底してやっていきたいなと思います。</p> <p>お時間が近づいてきてしまいまして、一つ事前のアンケートでいただいていたご意見で、産婦人科などの充実がどうなのかというご意見をいただいています、これについて、大川市長は公約にも産科の件を挙げていらっしゃると思いますので、ちょっとご意見をいただきたいと思えます。</p> <p>ご意見の内容を申し上げますと、「外から見ていると、本当に必要か？と思うような公共事業等が多いと思う。本当にこれからの未来である子ども達や子育てをしている親を考えてほしい。施設及び職員の充実、産婦人科の設備等。」というご意見です。</p>
<p>◎市長</p>	<p>産科に行ったら、いっぱいダメだとか、受け入れてもらえないというご意見をずいぶん聞いてまいりました。栃木市全体で1年間に生まれるお子さんが1,000人います。以前は市内に産科が2つありました。その時は65%が市内で生まれていました。今は1か所になってしまいましたので、当然市内では出産できない人も出ていますので、他の市町村に行っています。これは困った状況であるということで、公約に掲げさせていただきました。</p> <p>県やメディカルセンターに相談に行ったりしておりまして、設置について研究会を立ち上げることになっています。間もなくその会議を開催する予定です。</p> <p>産科を作るためには、何人も医師が必要になります。今、産科医になる方が少ないのが現実です。昔はお産婆さんや助産婦さんで出産していました。医師も必要だと思いますが、助産師さんなどのサポートの中で自然分娩はできるようにしていきたいと思っています。なんとか頑張りたいと思っています。</p>
<p>◎参加者</p>	<p>私も自宅を開放して子育て支援ということで、お母さんたちの話を聞くなどをしています。</p> <p>みなさんのお悩みなどを聞く機会があるので、お伝えできることがあればと思って今日は来ました。</p>

短く3つお話をさせていただきます。

私も市役所とかどこか行くときは、ドキドキして行くので、最初、どこに行っているのか分からない人はここに来てください、という場所、総合案内があるといいと思います。すこやか子育て相談室ができたのはすごくありがたいことだと思いますが、子育てに困ったら、ここに、というところがあるとすごくありがたいので、最初の窓口がウエルカムな感じであるとありがたいので、ぜひそこをPRしていただければと思います。

あと、産後うつに関してのケアをたくさん考えてくださっているなと感じています。産後は自分でも想像できないようなことが起こってしまいます。家族やお友だちがいればすぐ相談できますが、そういうことをできない人が一番問題だと思います。やはり両親学級や、産後の健診の時から、ラインを開放して、何か困ったことがあったら、このラインに送ってくれば、相談員の方が気軽に答えるよ、というようになるところがあると、職員の方は24時間体制になってしまうので、大変かと思いますが、でも子育ての悩みって、24時間だし、特に夜に悩むことが多い。その時に解消できればそんなに長引かないのが、それを持ち続けると長引くということもあるので、できるできないという問題はあるかと思いますが、理想は不安なお母さんがいつでも答えてもらえることだと思います。

最後3点目です。先ほど、子どもの多様な学びのお話がでていましたが、実は我が家も二人の息子がいますが、学校には顔を出さず程度で、学校には馴染めていない状況です。自宅では元気です。もう、学校を終着点には、今は考えていなくて、最後子どもたちが羽ばたくまで元気でいられるということと、もしかしたらどこかから学校に行くかもしれないし、ということがあります。市長さんにぜひお願いしたいのは、栃木市は多様な学びを認めている市ですよ、ということぜひ言っていたきたい。それから、私もすごくいろいろ協力したいことがたくさんあるので、ぜひお声がけいただいたら、いっぱいいろいろなことを協力してくれる人を集めたりとかできますので、ぜひ力になりたいということも最後に言わせていただきます。

◎パーソナリティ

今日はたくさんのご意見、ありがとうございました。フリートークはこの辺りで締めさせていただきますと思います。

個人的には、たくさんのご意見をいただけたということと、いろいろな事業がある中で、今の時代に合ったPRがもっと必要なのかなというのが個人的な意見で、FMくららでも情報発

<p>◎事務局</p>	<p>信を頑張っていきたいと思います。本日はありがとうございました。</p> <p>それでは、最後になりますが市長から本日の総括を申し上げます。</p>
<p>◎市長</p> <p>閉会</p>	<p>あつという間に2時間が過ぎてしましまして、こういう風に活発に意見が交わせるというのがなかなかないのですが、こうしてみなさんからいろいろな意見を頂戴出来て、実のある今回のふれあいトークであったなと思います。</p> <p>そして、私たちと世代が違う。やはり情報の発信の仕方にもこれからきちんと対応していく必要があるなと強く思いました。行政の方にいろいろなメニューがあっても、それが皆さんの方に伝わっていない。世代に合った情報の発信というのをこれからやっていかなければならないと感じました。</p> <p>そして、市役所に緊張してこないように、みなさんの役に立つことが市役所ですから、ぜひいつでもどうぞ、ウエルカムでみんなを迎えられるような市役所にしていきたいなと思っております。</p> <p>そして、栃木市が子育てに優しい市なんだということをきちんと、もっとPRできるような、優しくないとPRできませんから、胸張って言えるような、栃木市の子育て支援をしっかりとしていく必要があるということを感じました。</p> <p>子育てを経験して、現場でいろいろな生の声を持っているみなさんとのこの話の場が大変貴重な時間であったと思っております。これらをしっかりと市政の中に活かしてまいりたいなと思っております。今日は本当にありがとうございました。</p>